

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 平成29年 2月 14日

団体名	佐久サムライ実行委員会		
事業名	佐久サムライ和を結ぶ!～サムライ体験～		
対象経費	1,243,140円	支援金額	611,000円

事業の目的・内容	<p>目的 「佐久サムライ」企画 佐久サムライ実行委員会は、平成25年度は映画「佐久サムライいじめを斬る!」を、平成27年度は①温故知新・大人も子供も「サムライ体験」企画 ②映画「佐久サムライ和を結ぶ!」を制作し、東信地区の学校・施設に配布する事業を行うことができた。 平成28年度は、それらの活動の主旨である「しつけ」「道徳」について、関心を持ってもらう様、親子で和 문화「サムライ体験」に参加を呼びかけた。学区・地域・年齢を超えて交流しながら、身近な和文化を楽しく学ぶ。「しつけ」「道徳」は特別な勉強ではなく、日常生活の中にある事、まず大人が実践し、子どもの手本となる事が大切である。</p>
	<p>内容 「佐久サムライ」企画 親子で和 문화の良さを体験する楽しい講座(1日だけの参加も可)を開催出来た。 ①サムライ体験 畳のある大広間(寺院・佐久創造館)を使用して体験講座を開催した。学習した和 문화の技術を家庭に持ち帰り、各家庭で実践応用、親子間のコミュニケーション向上に利用してもらいたい。 体験日7月28日(木)～7月30日(土)の3日間(午前・午後)。昨年行った実績(前年参加者の意見要望も考慮)をもとに、予定を5日間から3日間にして、全講座に参加しやすいようにした。まず形から、全日程を着物(浴衣)を着て体験に臨んだ。あいさつ・返事・後始末をしっかり行うことで、しつけの基本を身につけた。昨年より参加者は少なかったが、ひとり一人と関わる時間が持て、充実した「サムライ体験」を行う事ができた。新科目として、お裁縫・邦楽体験・水墨画が増えた。 ②映画上映～子育て支援講演会 地域の集会所などを利用して、映画「佐久サムライ」シリーズのミニ上映会と、子育てについての講演会～交流会を実施した。映画「佐久サムライ和を結ぶ!」(上映30分)を観賞した後、感想や身の回りの和 문화・しつけについて思いを述べあった。和 문화の伝承が子ども達の心を育てることを話し合った。お箸で豆とり「お箸ちゃんと持てますか?」ゲームに、大人も子どもも挑戦。楽しみながら「箸」を正しく持つことを学んでもらった。やっではいけない「箸使い」を皆で確認した。【家庭倫理の会】生活相談士・講話を聴き、すぐに役立つ子育て手引きを学んだ。各人(見守り隊員含め)の子育ての体験談、現在の子育て事情を話し、意見交換した。講話の時間から、子どもは【リトミック体験】の時間として、保護者とは別行動とした。(保護者が、子どもを気にせず話するため)子どもたちの感想、リトミック体験は楽しい。すぐお友達になれた。また参加したい。リトミックレッスン会場を確認する家族もあった。</p>
事業の活動実績	<p>①サムライ体験 1日目(7月28日) ①着付けを学ぼう! ②できるかな、お裁縫! ③お箸ちゃんと持てますか? ④「子育て手引き」講話 ⑤寺子屋体験・論語の素読に挑戦! ⑥後始末～浴衣のたたみ方・整理整頓 佐久市鳴瀬・桃源院(参加者36名) 2日目(7月29日) ①殺陣(チャンバラ)に挑戦しよう! ②お箸ちゃんと持てますか? ③「子育て手引き」講話 ④三味線と太鼓にふれてみよう! ⑤後始末～浴衣のたたみ方・整理整頓 佐久創造館(参加者44名) 3日目(7月30日) ①墨で絵を描く! ②お寺で怪談 ③なぜ「いただきます」っていうの? ④修了式 佐久市田口・蕃昌院(参加者24名) ②上映会と子育て手引きのおはなし会 第1回(10月16日) 佐久市岩村田・なんだ館(参加者21名) 第2回(11月19日) 小諸市和田・農村研修センター(参加者19名)</p>



事業の成果・効果	<p>「サムライ体験」親子・家族で和 문화の基本を体験し、再確認をした。学習した和 문화(着付け、裁縫、あいさつ、論語素読、水墨、邦楽、箸の持ち方など)興味を持ってもらえた。各家庭にて「和 문화」体験で身に付けた事を持ち帰って、応用・実践を促す。 (参加者の声) 雑巾を縫うのが楽しかった。(宿題:色違い糸で名前を刺しゅうした) 論語素読で、論語の暗記が出来た。着付けやたたむ事を学び直せた。箸の持ち方がわかった。 「子育て」や「しつけ」は家族だけではなく、地域で行う事が大切である。体験学習で親子のコミュニケーションがとれた。「形」を整えることで、「心」も整うことを知った。得手不得手があるので、お互いに補えることを知った。 ●参加者46名(21家族)・見守り隊58名、合計104名(外国籍3名、イギリス・台湾) 「上映会と子育て支援」映画・佐久サムライ和を結ぶ! (内容・身の回りの和 문화を再発見しながら、地域での交流。交流の中で更に、昔からの伝っている行事、風習の意味を知る。伝えていく事、実践していく事の大切さ)を参加者で観賞。大きなスクリーンで観賞すると、見応えがあった。(映画)良くできた作品である。皆で「箸の持ち方」を確認した。ちゃんと持っていると思っていたが、違っていた。大人になってから矯正しにくいので、子どもの内に持っているようになるのが、好ましい。昔のお侍さんに、左利きはいないことを知った。こどものいる家族の参加は少なかったが、見守り隊員同志の横の繋がりが出来た。お互いの活動内容を知り、交流・情報交換できた。リトミック体験、はじめましてのお友達と、楽しく体験できた機会があれば、また参加したい。お茶・菓子を配るお手伝いを率先して行ってくれた。 ●参加者11名(4家族)見守り隊29名、合計40名</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	今年が2年目となる「サムライ体験」は、他のイベント企画への出張の依頼を受ける。 ①8月3日・小諸エコビレッジにて福島県相馬市からショートステイ児童達に開催。 ②8月5日フクシマ・サマーキャンプサポート隊(福島県飯館村からショートステイ)真田御屋敷跡にて開催。 地域貢献する他のグループ活動者と繋がる事が出来た。それらの情報を、体験参加者に提供でき、広がった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>昨今イベント・行事も多く、参加者を募る事が難しい。来年も参加希望の声をいただいているが、他の企画の一部に「サムライ体験」取り入れて、継続する事も良いと思う。又このような企画に参加できる家族は、子どもの事を考えたり、ある程度親子間のコミュニケーションがとれている親子であり、しっかりと「しつけ・子育て」について考えてほしいと思う家庭の参加は、少ないように思う。その為にはどうしたらよいか。企画内容、訴え方をもっと考える必要がある。これからも上映会と子育て手引きおはなし会は、開催する。参加者少人数にして、深く話せるようにしたい。</p>
---------	--